

【公募期間延長】

山口大学大学院創成科学研究科 農学系学域 生物資源環境科学分野 (農業農村工学) 教員の公募について

1. 公募の内容

- | | |
|----------|---|
| (1) 職名 | 准教授または助教 |
| (2) 人数 | 1名 |
| (3) 所属 | 大学院創成科学研究科 農学系学域 生物資源環境科学分野 |
| (4) 専門分野 | 農業農村工学分野 |
| (5) 職務内容 | ①学部生・大学院生への授業及び研究指導
②積極的な研究活動
③査読付論文の発表や特許取得等, 研究成果のアウトプット活動
④学会等における研究結果の発表を含む, 社会・国民への研究成果の発信に関する活動
⑤外部資金の積極的な申請
⑥所属部局が必要と認めた業務 |
| (6) 担当科目 | 専門教育科目: 農業農村工学に関連する専門科目, 測量・地理情報システム学, 教員の専門分野に関連する学生実験(分担), 生物資源環境科学基礎実験(分担), 卒業論文の指導
大学院科目: フィールド科学特論(分担), 先端科学技術演習I(次世代農業CPOT)(分担), 修士論文の指導 |
| (7) 任期 | 准教授: 任期なし
助教: 任期5年(審査により1回再任可) |
| (8) 待遇 | 給与等雇用条件は, 本学の規定による年俸制を適用 |

2. 応募要件 (全ての要件を満たすこと)

- ①博士の学位を取得していること。ただし, 助教の場合は, 着任後1年以内に取得見込みを含む。
- ②著書及び学術論文(総説は含まない)
准教授: 総数が10編以上であり, 内5編以上は筆頭著者であること及び最近5年間で3編以上であり, 内2編以上は筆頭著者であること。
助教: 総数が2編以上であり, 内2編以上は筆頭著者であること。
- ③大学院生及び学部学生の教育・研究指導に熱意をもって行えること。
- ④採用予定日(令和7年1月1日以降(応相談))に着任可能であること。
- ⑤本学, 生物資源環境科学分野の教育研究活動に参画する意欲があること。特に, 「農業農村工学」に関連する学問分野の教育研究を担当し, 農学部が進めるデジタルファーミング教育にも取り組むことができることが望まれます。

3. 採用予定日

令和7年1月1日以降（応相談）

4. 応募の期限

令和6年9月30日（月）17時【日本標準時間】必着

5. 提出書類

（1）履歴書

写真を添付し、連絡先（住所、電話番号、E-mailアドレス）、学歴（高校以降）、職歴、賞罰を明記のこと。様式は問わないが、JREC-IN様式を推奨する。

・賞罰欄には、受賞歴・刑事罰に加えて、過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記載すること。なお、虚偽記載があった場合には、採用取消や懲戒の対象となる場合がある。

（2）研究業績目録

著書、査読付きの学術論文、その他（査読のない学術論文、総説、紀要、プロシーディングスなど）、学会発表、特許、所属学会、外部研究費獲得実績、各種受賞実績に分けて記載すること。また、学術論文については、可能な限りリンク付きDOIを記載すること。様式は問わないが、参考までに、教員・研究員公募ページ（下記URL）に業績目録の見本を掲載する。

教員・研究員公募（農学部の欄をご覧ください。）

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/company/recruitment-teachers/index.html>

（3）主要論文

准教授：筆頭著者論文5編

助 教：筆頭著者論文2編以上を含む5編以内

（4）現在までの研究の概要について（1,000字程度）

（5）今後の抱負について（1,000字程度）

（6）応募者について照会できる方2名の氏名、所属と連絡先（電話番号、E-mailアドレス）

または、推薦者がある場合には推薦書

6. 選考方法

書類選考のうえ、面接（対面）を実施します。

選考により選出された候補者には、本学においてセミナーを行っていただきます。

なお、審査等にかかる旅費は、自己負担となります。

7. 応募書類の提出先及び提出方法並びに照会先

（1）応募書類の提出先、提出方法

提出書類を全てPDF形式の添付ファイルとし、件名に「農業農村工学分野教員応募」と記載し、E-mailで下記アドレスに送付してください。E-mailで書類提出後、3日以内（土日祝日を除く）に

受領確認メールが届かない場合には、お問い合わせください。

山口大学農学部総務企画係

TEL : 083-933-5805

E-mail : ag293@yamaguchi-u. ac. jp

(添付ファイルは、10MB以内にまとめて圧縮し、パスワード保護してください。容量が大きい場合は、件名の末尾に（1／2）等をつけ、複数回に分けて提出してください。)

(2) 照会先

〒753-8515 山口市吉田1677-1

山口大学農学部

採用選考委員会委員長 鈴木 賢士

TEL&FAX : 083-933-5834

E-mail : kenjis@yamaguchi-u. ac. jp

8. その他

- (1) 応募に係る個人情報、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。
- (2) 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。
- (3) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、吉田キャンパス内での長期休暇中の学童保育の実施や、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミィ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がいる場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索